





# 十四日原子力研究総合発表会

## 論文数二百五十一編

第三回原子力研究総合発表会は、既報のように二月十四日(四日)東京神田一ツ橋の学士会館で開かれる。主催は日本原子力学会を中心とする二十五学協会であるが、これに原産など五関係機関が後援する。

この研究総合発表会は総合講演、討論会、研究発表の三部からなり、毎日午前九時三十分から午後五時三十分まで、四会場(大集会室A、B、C、D)に分かれて行われる。第一日(十四日)の開会式は午前九時からA会場で行われ、引き続き午後二時から、討論会と総合講演がある。

総合講演は前回の招待講演に代わるもので、会期中に七つのテーマで行なわれる。このうち①最近の原子力核燃料、②原子力開発における最近の傾向、③炉化学に関する最近の研究、④高度分析器の最近の進歩、⑤セラミック炉心構造の耐震性、⑥原子力炉心腐食と防食のテーマは共催学協会から推薦し、⑦JRR-3核燃料は運営委員会で決定したものである。東京工業大学堀江久氏ら十五氏が講演する。

討論会は運営委員会が慎重に検討したうえで、現時点のわが国原子力開発の焦点と見られるテーマを選んだ。①原子力開発における炉心燃料の問題点(座長長谷川正義氏)、②原子力開発における障害対策の諸問題(座長菅原秀氏)について、京都大学堀尾正雄氏ら十五氏が討論に立つ。このほか原子燃料公社佐藤源氏の提案で、日本における資源の探査と探鉱に関する小討論会(座長渡辺清氏)があり、東京大学片山信夫氏ら四氏が討論発表する。

また発表論文の総数は二百五十一編で、前回の三百六十六編に比し三十五編を増加しているが、その分野別は次のとおりである。

▽資源・探鉱五編、核燃料七五編、炉心燃料二〇編、炉化学二八編、核融合九編、核物理一三編、炉物理六三編、動力特性一五編、制御三三編、その他四一編。

▽国立研究所一四〇編、原研一〇五編、原燃一七編、運輸技術五編、その他一三編。

なおこの発表者を所別別にみると次のようになる。

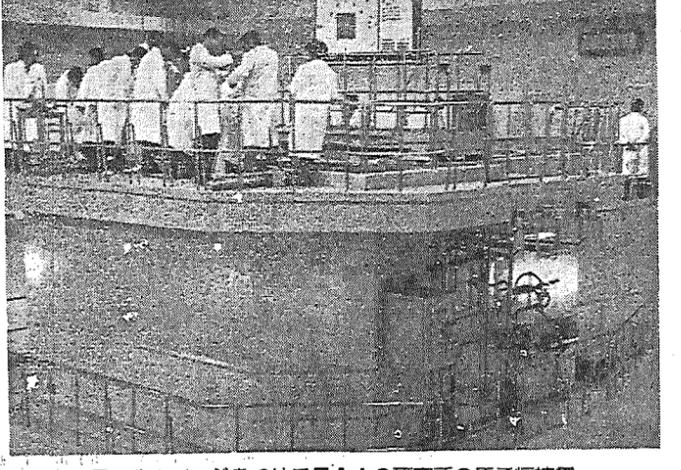
▽東京大学六八編、東大九編、東大一〇編、東大九編、東大九編、その他一六編。

▽産業界一四三編、日立立三編、三菱原子力三編、東芝二編、日本原子力三編、古河電六編、住友秀則氏である。

## 研究所落成を披露

### TAICが関係者300名招き わが国最初の国産炉も

川崎市王寺四ツ田の東京原子力産業研究所(以下TAIC)は二月三日、本科学技術庁長官、内山神奈川県知事、その他関係者約三百名を招いて原子炉と研究所を披露した。これは既報のように、一昨年から同研究所内に建設していた日立製作所の百kW教育訓練用原子炉が、二月三日、正式に落成した。この落成式には、関係者約三百名が参加した。落成式は、まず関係者約三百名が参加した。落成式は、まず関係者約三百名が参加した。



フィルムバッグをつけてTAIC研究所の原子炉披露

また披露された原子炉(詳細は本紙一月五日号に掲載)は、独特性のある安全な国産炉をいう原子力高の公衆に広く、二酸化ウランの粉末を輸入した場合は、一切の産技術で完成した。現在また熱出力1W程度であるが、各種の測定をおこなった。三月から出力1W運転を始め、五月から百kW運転は、七月一日から研究所に譲渡する。譲渡価格は一億二千三百万円。

この研究所は加配会社から研究員が研究テーマを持って入所し、施設の使用料を払う運用であり、したがって特許権なども使用会社に帰属することになる。

なお百kW炉は、南に武蔵工大の原子力研究所が、北に接して日立製作所中央研究所原子力研究室(倉長神原豊三氏)が建設中である。

またこの発表者を所別別にみると次のようになる。

▽東京大学六八編、東大九編、東大一〇編、東大九編、東大九編、その他一六編。

▽産業界一四三編、日立立三編、三菱原子力三編、東芝二編、日本原子力三編、古河電六編、住友秀則氏である。

またこの発表者を所別別にみると次のようになる。

▽東京大学六八編、東大九編、東大一〇編、東大九編、東大九編、その他一六編。

▽産業界一四三編、日立立三編、三菱原子力三編、東芝二編、日本原子力三編、古河電六編、住友秀則氏である。

またこの発表者を所別別にみると次のようになる。

▽東京大学六八編、東大九編、東大一〇編、東大九編、東大九編、その他一六編。

▽産業界一四三編、日立立三編、三菱原子力三編、東芝二編、日本原子力三編、古河電六編、住友秀則氏である。

## 第二種放射線取扱者試験

### 四月東京と大阪を施行

科学技術庁では、四月八日午前九時三十分から、東京と大阪で第一種放射線取扱者試験(密封線源)試験を実施する。試験場は前同と同じく、東京は文京区茗荷谷の拓殖大学、大阪は大田区長柄中の関西大学である。また試験員は午前放射線取扱者試験による放射線取扱者試験に合格した者、東京教育大学で第一種放射線源同位元素と放射線防護の防止に関する法

## 密封線源の講習会

### 三月中旬 東京で五日間開催

安全取扱講習会を開く。募集定員は講習のみの百二十名、実習を兼ねるもの六十名で、受講資格は学歴、経験を問わず、高校生程度の理解力があり、十八歳以上のものであればよい。希望者は二月二十日までに東京都文京区駒込上富士前町三丁目内日本放射線同位元素協会へ申込みを送付すること。用紙は同協会に備付。講習料は講習二千元、実習を兼ねる場合は五千円である。

講習の内容と日程は次のとおり。

①三月三日 映画、R-1の基礎②物理③教育大三輪光雄氏、同④化学⑤向坂口博氏、放射線防護

同位元素と放射線防護の防止に関する管理技術(放射線の測定に関する技術ならびに物理、化学および生物学的な放射線に関するものを含む)提出書類は受験申込書用紙抄本、写真、受験票の送付先を記した封筒に、あて先は東京都千代田区

同位元素と放射線防護の防止に関する管理技術(放射線の測定に関する技術ならびに物理、化学および生物学的な放射線に関するものを含む)提出書類は受験申込書用紙抄本、写真、受験票の送付先を記した封筒に、あて先は東京都千代田区

同位元素と放射線防護の防止に関する管理技術(放射線の測定に関する技術ならびに物理、化学および生物学的な放射線に関するものを含む)提出書類は受験申込書用紙抄本、写真、受験票の送付先を記した封筒に、あて先は東京都千代田区

## 塩化ビニール シリコン 化学肥料

高純度シリコン  
力パイ  
苛性  
合金

### 信越化学

社長 小坂 徳三郎  
本社 東京都千代田区丸の内(東銀ビル)

## 同和鋳業

社長 久留島 秀三郎  
副社長 小川 栄一

本社 東京都千代田区丸の内1の1鉄鋼ビル  
事務所 小坂・花岡・橋原・赤金・日正・岡山・尼崎・片上

硫化鉄鉍・電気銅  
電気亜鉛・金・銀  
硫 酸・脱銅焼鉄鉍

## 同和鋳業

社長 久留島 秀三郎  
副社長 小川 栄一

本社 東京都千代田区丸の内1の1鉄鋼ビル  
事務所 小坂・花岡・橋原・赤金・日正・岡山・尼崎・片上

四の気象官署で測定しているもの。また地表付近にある浮遊チリの放射能を、定時雨水の旬間全量平均値で示したものであるが、これに比べて、九月中旬から増加し、十一月下旬には一立方センチあたり八四マイクロ・マイクロ。放射線対策本部は一月二十三日、放射線降下物と食品中の放射能について調査の結果を発表した。これは雨水やチリの全放射能測定と一部の食品について核種分析をした結果であるが、雨水とチリは昭和二十六年九月以降の放射能の傾向を知るために、全放射能(グロス)を旬間の全量平均としてまとめたものである。この全放射能調査に関する部分の発表概要は次のとおりである。

また地表付近にある浮遊チリの放射能を、定時雨水の旬間全量平均値で示したものであるが、これに比べて、九月中旬から増加し、十一月下旬には一立方センチあたり八四マイクロ・マイクロ。放射線対策本部は一月二十三日、放射線降下物と食品中の放射能について調査の結果を発表した。これは雨水やチリの全放射能測定と一部の食品について核種分析をした結果であるが、雨水とチリは昭和二十六年九月以降の放射能の傾向を知るために、全放射能(グロス)を旬間の全量平均としてまとめたものである。この全放射能調査に関する部分の発表概要は次のとおりである。

また地表付近にある浮遊チリの放射能を、定時雨水の旬間全量平均値で示したものであるが、これに比べて、九月中旬から増加し、十一月下旬には一立方センチあたり八四マイクロ・マイクロ。放射線対策本部は一月二十三日、放射線降下物と食品中の放射能について調査の結果を発表した。これは雨水やチリの全放射能測定と一部の食品について核種分析をした結果であるが、雨水とチリは昭和二十六年九月以降の放射能の傾向を知るために、全放射能(グロス)を旬間の全量平均としてまとめたものである。この全放射能調査に関する部分の発表概要は次のとおりである。

放射線対策本部が調査結果発表

あめりか横断記

京都大学工学部助手植松邦彦氏は、日本原子力平和利用基金の第一回留学生として米回米基金の協力のもとに渡米し...

自動車での一人旅

長年の留学生生活を終えて帰国するにあたり、あついでに横断した所も多し、ボストンからサンフランシスコまで飛行機で米大陸をまたぎ、そのあついでに...

米学生間に強い日本ブーム

自動車で米大陸を横断

京都大学工学部 植松 邦彦

呼ばれ急ぎを感ずるに及ぶ。日本人の心を捉へてはいる。...



エンリコ・フェルミ原子力発電所 (1958年建設当時撮影)

九時を指している。オハイオ州は東部標準時を使うので、...

日本に強い関心

二十一日から二十四日までアンバーでミシガン大学の学生とある友人のビーターセン君のオートレドで夜十時やとモテルに入...

シスラー氏に会う

アンバー滞在中デトロイト エンジンのシスラー氏(注)米原子力平和利用基金理事長)...

親切なステーション氏

一千五百にアメリカ法律協会に会ったステーション博士を訪ねる。ステーション氏は日本で開...

時差に悩まされる

翌二十日はデトロイトを過ぎ、十分手を入れたはずの自動車にもかかわらず、オハイオ州のエンジンが壊れてしま...

加速器

きたる二月十四日から四日間、神戸の学士会館で第三回原子力研究発表会が開かれる。...

エネルギーのよい運営を期待

この発表会が研究論文の発表にとどまらず、原子力平和利用の推進に資するものとなることを期待する。...

新刊紹介

創立十周年を全取扱いからなる「基礎編」迎えた日本放射線同位元素協会では、...

基礎事項から応用まで

「アイソトープ便覧」の出版と並んで、便覧という性格上必要なあらゆる基本事項の解説から...

返同編「アイソトープ便覧」

アイソトープ便覧は、原子力平和利用と青少年の西へシカゴに向かう。途中予想外の風雨に悩まされた。...

奇妙な米加国境線 旅行はかけがえのない経験。一人だけなので、できるだけ楽に日...

加速器

きたる二月十四日から四日間、神戸の学士会館で第三回原子力研究発表会が開かれる。...

エネルギーのよい運営を期待

この発表会が研究論文の発表にとどまらず、原子力平和利用の推進に資するものとなることを期待する。...

新刊紹介

創立十周年を全取扱いからなる「基礎編」迎えた日本放射線同位元素協会では、...

基礎事項から応用まで

「アイソトープ便覧」の出版と並んで、便覧という性格上必要なあらゆる基本事項の解説から...

返同編「アイソトープ便覧」

アイソトープ便覧は、原子力平和利用と青少年の西へシカゴに向かう。途中予想外の風雨に悩まされた。...

親切なステーション氏

一千五百にアメリカ法律協会に会ったステーション博士を訪ねる。ステーション氏は日本で開...

IAEAが原産

昨年の十月下旬、IAEAにおいて国際原子力機関の主催で「動力炉実験に関するシンポジウム」が開...

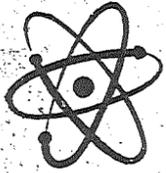
わかりやすい原子力の入門書. わたくしたちの原子力教室. 第10分冊 加速器編, 第11分冊 核融合編, 第12分冊 世界の現状編. 刊行 日本原子力平和利用基金











# 原子力産業新聞

—第207号—  
昭和37年2月25日  
毎月3回(5日,15日,25日)発行  
1部7円(送料不要)  
購読料1年前分金200円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可 発行所 日本原子力産業会議 東京都港区芝田町1の1(京電旧館3階) 電話(59)6121-5 振替東京5895番

一月十四日東京神田の学士会館で開かれた「第三回原子力研究総合発表会」は、十七日予定の日程を終了した。参加者は延べ二千五百名に達し、前回はしるべき盛況であった。【二面参照】

第百十五号からは四会場にわかれ、午前九時三十分開会、会期中に次の日程を終了した。(アルファベットはそれぞれの会場名、部門名の下の数字は発表論文数)

▼第二日 A  
II 総合講演  
炉化学に関する  
最近の研究  
(東大向坊隆  
氏) 精製七、  
精製六、討論  
会報告動力炉  
の被覆材の問  
題点、B II 総  
合講演波高  
分析器の最近  
の進歩(東大  
森脇義雄氏)  
放射線計測二  
五、C II 炉理  
論二六、D II  
非金属炉材料  
一〇、障害・  
管理一六  
▼第三日 A  
II 安全性一四  
討論会原子  
力開発における障害対策の諸問  
題、B II 炉工学二四、C II 燃料  
要素二二、照射効果二六、D II 資  
源探査五、小討論会日本におけ  
るウラン資源の探査探鉱、計算  
コード八、炉理論六、雑音解析六  
▼第四日 A II 総合講演グラフ  
ァイト炉心構造の耐震性(建築  
学会久田俊彦氏) 金属二七七  
金属炉材料一、総合講演原子  
炉材料の腐食と防食(北海道大  
岡本剛氏ほか三氏) B II 陸揚物  
処理一〇、原子動力八、土木・  
建築七、C II 原子炉制御八、助  
特性一九、D II 総合講演JRR  
一三核燃料(原研川崎正之氏ほ  
か二氏) 核融合九、核物理二三  
こんどの総合発表会では応募論文  
三七二編のうち三五二編が採択さ  
れた。しかしその後三編の発表取  
消があったので、発表されたも  
のは結局三四八編であった。  
この口頭発表を所別別にみると原  
研は前回にくらべて三五編増加し  
一〇三編と一番多く、この中には  
JRR-2の運転開始による研究  
が二〇編近く出ている。また大学  
関係では立教大学、近畿大学の原

## 民間研究に新しい工夫

### 原子力研究総合発表会おわる

非常な若く研究者のアイディアに  
くれたものが多く、将来に明るい  
展望をもたせたい。

また研究発表のほかに総合講演と  
討論会が行われたが、時間を切  
詰めた関係で、会場での質問者は  
意外に少なかった。しかし参加者  
の意見は総合発表会、しかも相当  
反響があった。

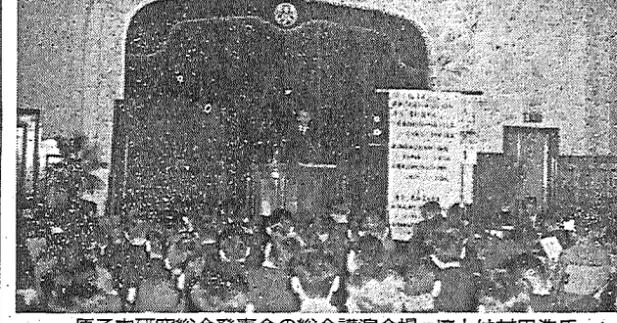
研究会などで発  
表されているも  
のが多いため  
の発表は二四三  
編で、前回より  
も六編減少した  
が、日立製作所  
と三菱原子力は  
かえって八編と  
五編を増加し  
た。研究が各社  
ともそれぞれ自  
分の方向にすす  
んでいることが  
よくうかがわれ  
ていて、  
共同に各社が  
分担して有効に  
進めていること  
などは新しい傾  
向といえるが、  
向といえるが、  
できよう。また  
当然のことながら、次第に精密に  
なっている。

このほか一般的には、着実な研究  
が進められていると、大型装置  
による大がかりな研究が出はじめ  
ていることも指摘されるが、

次回も会場を  
大学に移す?  
主催者側で考慮

第三回原子力研究総合発表会は、  
予期以上の成果をあげ、一月十  
七日終了したが、主催者側には早  
くも次回(会場を大学の講堂に移  
す)との話が出ている。原子力研究総合  
発表会も日本学  
術会議の原子力  
セッションを継承した  
もので、これは東京  
六回目をあたるが、  
応募発表は回をかさ  
ねることに増加して  
いる。そのため昨年  
秋、よくに発表者  
の多い核燃料、炉物  
理部門のために、  
分科発表会を設けて  
総合発表会の中で  
を防いだ。

しかし、フタをひ  
たして、前回を  
ついでに、結果にな  
ったので、主催者側



原子力研究総合発表会の総合講演会場—壇上は村田浩氏

## 特殊核物質を購入

### 研究用量で日米協定調印

政府は二月二十三日、研究用として、ウラン二三五約三・五〇  
一七(濃縮度約二〇、九〇、九三  
および九三・四四の四種)を、  
米原子力委員会から購入するこ  
とになったと発表した。  
これはかねて、日米原子力協定に  
基づいて、ウラン二三五約三・五〇  
一七(濃縮度約二〇、九〇、九三  
および九三・四四の四種)を、  
米原子力委員会から購入するこ  
とになったと発表した。

## 正式に要望提出

### 原子力施設地帯の整備で

日本原子力産業会議では二月  
十二日原子力施設地帯整備特別委  
員会で決定した「原子力施設地帯  
の整備に関する要望」を、政府な  
ど関係各方面に提出する準備を進  
めていたが、内部手続きを終わ  
って二十三日、菅会長からそれぞ  
れ正式に提出した。この要望は  
日本原子力産業会議がわが国原  
子力産業の確立発展のために原  
子力施設地帯の整備を、  
力を通じて、とくに、原  
子力施設地帯の環境整備対策の  
確立と、その早急な実施  
はきわめて喫緊の要務と  
あると、このため  
り、まず茨城県東海村の  
原子力施設の拡大と、同  
村周辺都市の工業的發展  
の傾向にかんがみて、こ  
れら両者の計画の調整を  
はかり、総合的な見地か  
ら適切な施策を講ずること  
が、最も必要である  
と考へられたので、昨年  
九月から原子力産業界と  
茨城県関係者で原子力  
施設地帯整備特別委員会  
を設置し、協議検討を重ね  
た結果、別添の「原子力  
施設地帯の整備に関する  
基本構想」を策定した。  
この基本構想は、わが国原子力  
開発のいっそう円滑な発  
展と、原子力施設地帯関

## 要望提出先

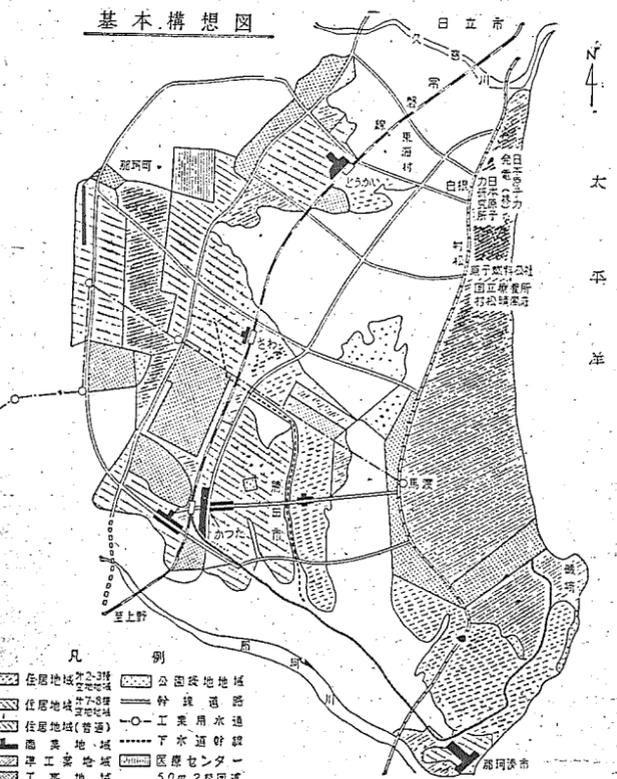
原産の施設地帯整備に関する要  
望の提出先は次のとおり。  
総理、外務、法務、大蔵、文部、  
厚生、農林、通産、建設、  
自治各大臣、科学技術庁長官、同  
次官、原子力委員長ならびに各委  
員、原子力局長、総務局長、防  
衛庁長官、官房、法制局、  
外務、大蔵、文部、農林水産、商  
工、運輸、建設、予算、科学技術  
振興対策特別委員会、地方行政、  
地方行政、法務、外務、大蔵、文  
教、農林水産、運輸、商工、建設、  
予算、科学技術振興対策特別委  
員長、自民党幹事長、総務、政調

## 東芝と日立の 燃料日本側へ

それら加工をおこな  
る東芝中央研究所の「スイートフ  
ル型研究用炉用燃料」(二〇%  
濃縮ウラン)を使用した「MTR型」  
は、米国の「エレクトリック  
」社に加工していたが、一月十  
日サンフランシスコで日本側に引  
取り、二十三日羽田に到着した。  
また日立中央研究所主幹寺分室の  
軽水型臨界実験装置用濃縮ウ  
ランは、米国の「エレクトリック  
」社に加工していたが、二  
十六日サンフランシスコで引取  
り、二十三日羽田に到着した。こ  
の概要は次のとおり。  
▼東芝用ウラン 量一七、六一  
七、七七、濃縮度一三五、三  
五、二、七九、濃縮度一九  
九、九  
▼日立用ウラン 量七二、二  
一、一五、濃縮度一三五、一、  
九八、濃縮度一四九、  
九、二、濃縮度一三五、三、  
五、二、七九、濃縮度一九  
九、九

## 一部変更の二原研 炉施設安全性答申

原子力委員会では二月二十一日、施  
設の一部を変更した二原研の動力試  
験炉と軽水臨界実験装置の安全性  
について審議し、原子炉安全専門審  
査会の報告にもとづき、安全上支  
障のないものと認め、首肯に答申し  
た。



基本構想図

凡 別  
● 居住地域(一) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(二) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(三) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(四) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(五) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(六) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(七) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(八) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(九) ● 公園地 ● 工業地域  
○ 居住地域(十) ● 公園地 ● 工業地域

## 要望提出先

原産の施設地帯整備に関する要  
望の提出先は次のとおり。  
総理、外務、法務、大蔵、文部、  
厚生、農林、通産、建設、  
自治各大臣、科学技術庁長官、同  
次官、原子力委員長ならびに各委  
員、原子力局長、総務局長、防  
衛庁長官、官房、法制局、  
外務、大蔵、文部、農林水産、商  
工、運輸、建設、予算、科学技術  
振興対策特別委員会、地方行政、  
地方行政、法務、外務、大蔵、文  
教、農林水産、運輸、商工、建設、  
予算、科学技術振興対策特別委  
員長、自民党幹事長、総務、政調

## 燃料日本側へ

それら加工をおこな  
る東芝中央研究所の「スイートフ  
ル型研究用炉用燃料」(二〇%  
濃縮ウラン)を使用した「MTR型」  
は、米国の「エレクトリック  
」社に加工していたが、一月十  
日サンフランシスコで日本側に引  
取り、二十三日羽田に到着した。  
また日立中央研究所主幹寺分室の  
軽水型臨界実験装置用濃縮ウ  
ランは、米国の「エレクトリック  
」社に加工していたが、二  
十六日サンフランシスコで引取  
り、二十三日羽田に到着した。こ  
の概要は次のとおり。  
▼東芝用ウラン 量一七、六一  
七、七七、濃縮度一三五、三  
五、二、七九、濃縮度一九  
九、九  
▼日立用ウラン 量七二、二  
一、一五、濃縮度一三五、一、  
九八、濃縮度一四九、  
九、二、濃縮度一三五、三、  
五、二、七九、濃縮度一九  
九、九

Westinghouse との技術提携認可!

原子力開発を推進する

三菱原子力工業株式会社  
三菱日本重工業株式会社  
新三菱重工業株式会社  
三菱造船株式会社  
三菱電機株式会社  
三菱化工機株式会社





